

引用・参考文献の書き方

以下は、「SIST(科学技術情報流通技術基準)」¹に準拠した参考文献の書き方です。レポートの参考文献を書くひとつの参考にしてください。(レポートの出題者や担当教員の指示がある場合は、それに従ってください。)同じレポートの中では、一つの記載形式(スタイル)で統一しましょう。

*存在しないあるいは不明の項目は記載不要

*図書の出版地、総ページ数は、記載されないことも多い

1. 図書

1.1. 全体を利用した場合

著者名. 書名. 巻次. 訳者名. 版表示, 出版地, 出版者, 出版年, 総ページ数, (シリーズ名, シリーズ番号).

*版表示で「初版・第1版」は記載不要。

- 1)小笠原喜康. 大学生のためのレポート・論文術. 新版, 東京, 講談社, 2009, 221p, (講談社現代新書, 2021).
- 2)Atkins, P. W. ;De Paula, Julio. 物理化学要論, 千原秀昭, 稲葉章訳. 第5版, 東京, 東京化学同人, 2012, 572p.
- 3)Varian, Hal R. Intermediate microeconomics : a modern approach. 8th ed., New York, W. W. Norton, 2010, 739p.

1.2. 特定のページあるいは特定の1章・1論文を利用した場合

著者名. “章の見出し or 論文名”. 書名. 編者名. 版表示, 出版地, 出版者, 出版年, はじめのページ-おわりのページ, (シリーズ名, シリーズ番号).

- 1)福田アジオ. 現代日本の民俗学 : ポスト柳田の五〇年. 東京, 吉川弘文館, 2014, p. 172-181.
- 2)James, Gareth et al. “Linear Model Selection and Regularization”. An introduction to statistical learning : with applications in R. New York : Springer, 2013, p. 203-264, (Springer Texts in Statistics, 103).
- 3)“感覚・知覚・感性”. 心理学. 和田万紀編. 第2版, 東京, 弘文堂, 2014, p.51-77, (Next 教科書シリーズ).
- 4)Hankivsky, Olena. “The challenges of HIV/AIDS in Ukraine”. HIV/AIDS:global frontiers in prevention/intervention. Pope, Cynthia et al. eds. New York, Routledge, 2009, p. 96-111.

¹ “SIST 02 参照文献の書き方”. SIST: 科学技術情報流通技術基準, 科学技術振興機構編. 東京, 科学技術振興機構, 2012, p. 75-112.

<http://sti.jst.go.jp/sist/perusal/index.html> あるいは

http://sti.jst.go.jp/sist/handbook/sist02_2007/main.htm, (参照 2014 -02 -21).

1.3. 事典の1項目

著者名. “項目名”. 書名, 巻次. 編者名. 版表示, 出版地, 出版者, 出版年, はじめのページ-おわりのページ, (シリーズ名, シリーズ番号).

- 1)伊藤佑子. “ダウン症の妊婦血液診断の臨床研究”. 現代用語の基礎知識, 東京, 自由国民社, 2013, p. 783-784.

2. 雑誌論文

著者名. 論文(記事)名. 誌名. 出版年, 巻数, 号数, はじめのページ-おわりのページ.

*「巻数」、「号数」は、どちらか一方のみしか持たない雑誌も多い。

- 1)藤井寛行. 2020年オリンピック・パラリンピックを見据えた東京のまちづくり. 新都市. 2013, vol. 67, no. 12, p. 61-69.
- 2)Horobin, S.C.P. J.R.R. Tolkien as a philologist: A reconsideration of the Northernisms in Chaucer's 'Reeve's Tale'. English Studies, 2001, vol. 82, no. 2, p. 97-105.
- 3)特集オバマのアメリカ: キー・プレイヤーたちの法哲学. 法学セミナー, 2010, vol. 55, no. 3, p. 10-33.

3. 新聞記事

著者名. 記事タイトル. 新聞名, 地域版名. 掲載日付, 朝夕刊の別や版, ページ or 面.

- 1)貝戸清之. (私の視点)インフラ老朽化 膨大な点検データ生かせ. 朝日新聞. 2014-03-01, 朝刊, オピニオン1面.
- 2)再生医療、特許5年長く、最長25年に、政府、実用化を後押し. 日本経済新聞, 2014-02-13, 朝刊, p. 1.
- 3)William, Booth. ;Ruth, Eglash. On the move from France to Israel. The Washington Post, 2014-01-25, A01.

4. インターネット上の情報

4.1 図書(電子ブック) 全体を利用

著者名. 書名. 訳者名. 版表示, 出版地, 出版者, 出版年, 総ページ数, (シリーズ名, シリーズ番号). 入手先, (入手日付).

- 1)戸田盛和. 物性物理 30 講. 東京, 朝倉書店, 2000, 229p, (物理学 30 講シリーズ, 9). <http://search.ebscohost.com/>, (参照 2014-03-03).
- 2)Schildt, Herbert. C# 4.0: the complete reference. New York, McGraw-Hill, 2010, 949p. <http://proquest.safaribooksonline.com/9780071741163>, (accessed 2014-03-03).

4.3 白書・統計の1項目・データ

“章名・表名”, 白書・統計名, 巻次, [編者名], 出版者, 出版年, はじまりのページ-終わりのページ, 入手先, (入手日付).

- 1)「厚生労働省」が作成する「厚生労働白書 平成 25 年版」の「第 1 部 第 1 章」を参照した場合
“第 1 部 第 1 章 若者を取り巻く社会経済の変化”. 厚生労働白書, 平成 25 年版:若者の意識を探る. 厚生労働省, 2013, p. 4-36. <http://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kousei/13/dl/1-01.pdf>, (参照 2014-03-03).

*「若者の意識を探る」は、「厚生労働白書 平成 25 年度」の副題

- 2)環境省が編集する「環境統計集 平成 24 年度」の表「2.1」を参照した場合
“2.1 国内各温室効果ガスの排出量の推移”. 環境統計集, 平成 24 年度. 環境省総合環境政策局編, 環境省. <http://www.env.go.jp/doc/toukei/data/11ex201.xls>, (参照 2014-03-03).

4.4 辞書・事典(データベース)の1項目

著者名, “題名”, データベース名, [提供者], 入手先, (入手日付).

- 1)日本化学会が提供するデータベース「化学書資料館」中の「標準科学用語辞典 第 2 版」の1項目「イオン化傾向」を参照した場合
“イオン化傾向”, 標準科学用語辞典(化学書資料館). 日本化学会, <https://www.chem-reference.com/>, (参照 2014-03-03).
- 2)Oxford University Press が提供するデータベース「Oxford English dictionary」の1項目「trust」を参照した場合
“Trust”, Oxford English dictionary. Oxford University Press, <http://dictionary.oed.com/>, (参照 2014-03-03).

4.5 雑誌論文(電子ジャーナルの論文)

著者名, 記事・論文名, 誌名, 出版年, 巻数, 号数, はじめのページ-おわりのページ, 入手先, (入手日付).

- 1)平林正司. ショパンのヴァルス:ワルシャワからパリへ. 慶應義塾大学日吉紀要 人文科学. 2008, no. 23, p. 275-300.
http://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10065043-20080531-0275, (参照 2014-03-03).
- 2)Einstein, Albert. Lens-like action of a star by the deviation of light in the gravitational field. Science. 1936, vol. 84, no. 2188, p. 506-507. <http://www.jstor.org/stable/1663250>, (参照 2014-03-03).

4.6 新聞記事(データベース・新聞社のサイトの記事)

著者名、記事タイトル、新聞名、地域版名、掲載日付、朝夕刊の別や版、ページ or 面、
サイト名 or データベース名、入手先、(入手日付)。

1)朝日新聞のデータベース「聞蔵Ⅱビジュアル」で検索した記事

慶応 150 年式典に天皇、皇后両陛下。朝日新聞。2008-11-09, 朝刊, 社会面。聞蔵Ⅱビジュアル, <http://database.asahi.com/library2/>, (参照 2014-03-03)。

2)新聞記事データベース「LexisNexis Academic」で、「The New York Times」の記事を検索

Hundreds of Anne Frank Books Vandalized in Japan. The New York Times. 2014-02-22, p. 8. LexisNexis Academic, <http://www.lexisnexis.com/ap/academic/>, (accessed 2014-03-05)

3)朝日新聞の電子速報版サイト「朝日新聞デジタル」の記事

17日間の熱闘終わる ソチを彩った選手たち。朝日新聞。2014-02-24。朝日新聞デジタル, <http://www.asahi.com/articles/ASG2S1TT9G2SIIPE002.html>, (参照2014-03-05)。

*紙の新聞あるいは紙をベースにした新聞記事データベースを参照することが望ましい。

*朝日新聞デジタルの記事には、朝・夕刊の別、ページや面の記載はない。

4.7 ウェブページ

著者名。"ウェブページの題名"。ウェブサイトの名称。更新日付。入手先、(入手日付)。

1)農林水産省食料産業局新事業創出課。“農林水産省品種登録ホームページ”。農林水産省。
<http://www.hinsyu.maff.go.jp/>, (参照 2014-03-05)。

2)慶應義塾大学日吉メディアセンター。“情報の生産と流通”。KITIE。

<http://project.lib.keio.ac.jp/kitie/classify/info-cycles/01.html>, (参照 2014-03-05)。

*ウェブサイトの名称が著者名と同じ場合、略してもよい。

参考文献の書き方の手引

- 1) 藤田節子。レポート・論文作成のための引用・参考文献の書き方。東京、日外アソシエーツ、2009、144p。
- 2) 慶應義塾大学日吉メディアセンター。情報リテラシー入門。東京、慶應義塾大学出版会、2002、119p。
- 3) 河野哲也。レポート・論文の書き方入門。第3版。東京、慶應義塾大学出版会、2002、116p。
- 4) 佐藤望編、湯川武ほか。アカデミック・スキルズ：大学生のための知的技法入門。第2版。東京、慶應義塾大学出版会、2012、180p。
- 5) 法律編集者懇話会。“法律文献等の出典の表示方法”。神戸大学大学院法学研究科・法学部。
<http://www.law.kobe-u.ac.jp/citation/mokuji.htm>, (参照 2013-03-12)
- 6) Gibaldi, Joseph. MLA 英語論文の手引。第6版。樋口昌幸訳編。東京、北星堂書店、2005、401p。
- 7) The American Psychological Association. APA 論文作成マニュアル。第2版。江藤裕之ほか訳。東京、医学書院、2011、328p。
- 8) 藤田節子。“「引用・参考文献の書き方」作成テンプレート”。日外アソシエーツ。
<http://inyo.nichigai.co.jp/>, (参照 2014-03-05)。

*書名、著者名、出版社といった情報を記入例に従って入力すると自動的に参考文献の形式で表示されます。